

滋賀大学がコーディネートする“淡海公民連携研究フォーラム”が 内閣府の支援対象に採択！

滋賀大学社会連携研究センターでは、公民連携（※PPP=パブリック・プライベート・パートナーシップ）に関する正しい知識を学び、多様な手法等を研究し、公民双方のマッチングを図る地域プラットフォーム「淡海公民連携研究フォーラム」を、滋賀県下の12自治体ならびに滋賀銀行と共に創設したいと考え、内閣府（民間資金等活用事業推進室）の支援対象に申請していたところ、去る7月14日付で、支援対象に採択されました。

今後、10月ごろに、内閣府の支援を受けながら第1回目のフォーラムをキックオフし、その後も年に数回のペースで定期的に連携フォーラムを開催していく予定です。

※PPPとは、具体的には、PFI、指定管理者制度、市場化テスト、包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシング等が含まれますが、政府の「日本再興戦略」においても、平成34年までの10年間でPPP/PFIの事業規模を12兆円に拡大することが目標として掲げられているところです。

事務局：滋賀大学社会連携研究センター（横山幸司研究室）

構成団体：滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、愛荘町、多賀町
滋賀銀行

